

金沢国際親善ニュース



姉妹都市公園で「かなざわ姉妹都市文化祭」を初開催



外国人住民防災リーダー育成研修



金沢市・гент市間の留学生ネットワークを構築

金沢市姉妹都市交流委員会

姉妹都市公園で、7つの姉妹都市とつながる

金沢駅の西側、駅西新町3丁目地内にある、姉妹都市公園。各姉妹都市の協力を得て、それぞれの都市をイメージして整備した国内でも珍しい公園です。この公園を活用し、より多くの市民に、姉妹都市を知り、親んでもらうため、2025年5月17日（土）、「かなざわ姉妹都市文化祭」を初めて開催しました。当日は、4,000人が来場し、各都市から来訪したゲストとの交流等をとおして、姉妹都市の文化を身近に感じてもらいました。

開会式

～姉妹都市交流をつなぐジャズの演奏とともに～

華やかなジャズの演奏とともにスタートした開会式では、村山卓^{たかし}金沢市長、喜多浩一市議会議長（金沢市姉妹都市交流委員会会長）の挨拶に続き、呉榮煥駐新潟大韓民国総領事から来賓の挨拶をいただきました。その後、7つの姉妹都市を代表して、提携年数が一番長いバッファロー市のバッファロー・金沢姉妹都市委員会クリストファー・モリソン会長が開会宣言を行い、本文化祭は幕を開けました。オープニング演奏は、ジャズ交流のためにгент市を訪問したことのある、金沢ジュニア・ジャズ・オーケストラJAZZ-21のOB・OGや現役メンバーが披露しました。同オーケストラは、これまでにバッファローともジャズ交流を深めています。



呉榮煥 駐新潟大韓民国総領事のあいさつ



オープニングをかざるJAZZ演奏

多彩なプログラムで大盛り上がり！

バッファロー市、гент市、蘇州市、全州市からは、ゲストが現地から本文化祭に参加して、来場者と直接交流を深めたほか、終日、様々なプログラムを実施しました。

芝生広場では、姉妹都市のゲストや地元の関係団体が、各国の食文化を紹介したほか、PRブースでは、各都市のゲストや地元在住の各国出身の方が、各都市から送られたパンフレットやグッズ等を通じて、その文化や魅力を紹介しました。

◆この日のため各都市から来訪したゲスト

姉妹都市名	ゲスト名
バッファロー (アメリカ)	バッファロー・金沢姉妹都市委員会 会長 クリストファー・モリソン氏
	バッファロー市民 マーゴ・デイヴィス氏
	バッファロー市民 エリザベス・クニプス氏
гент (ベルギー)	チョコレート専門店「Yuzu」ショコラティエ ニコラス・ヴァネイセ氏
蘇州 (中国)	蘇州市外事弁公室出国来華管理処 処長 周 昊(しゅうこう)氏
	蘇州市無形文化財 琴師 顧 俣帆(こよはん)氏
	蘇州市無形文化財 琴師 劉 敏飛(りゅうびんひ)氏
全州 (韓国)	全州市国際協力担当官室 国際交流チーム ユン・ナユン氏
	テグム(管楽器)奏者 キム・ヨンジュ氏
	パンソリ(歌) チョン・ミンゴン氏

各姉妹都市の代表団は、2025年5月14日～18日に金沢に滞在しました。



左からバッファロー、гент、蘇州、全州のゲスト



バッファロー カズー(笛)で交流



ナンシーに留学した金沢美大生&ナンシーからの留学生がまち紹介

「かなざわ姉妹都市文化祭」初めて開催！

ステージでは、蘇州市の琴奏者や、全州市の演奏家（テグム（管楽器）とパンソリ（歌））が伝統音楽を奏でました。それぞれの都市の情景が思い浮かぶような美しい音色が公園内に響き渡りました。



蘇州 伝統琴の演奏



全州 伝統音楽の演奏

また、市の国際交流員は、各国のゲームを紹介し、子どもたちがその国の遊びを楽しく体験しました。

◆ゲーム：

- * フランス ペタンク
- * ベルギー クップ
- * 韓国 トゥホ
セギチャギ
- * 中国 空竹



各国のゲーム体験

公園内の特徴である各都市のゾーンでは、市や県の国際交流員が、参加者に各土地の雰囲気を感じてもらいながら、都市の紹介をしました。



国際交流員とめぐる！クイズツアー

この時期は、公園のセントゾーンのバラがきれいに咲く季節。市緑と花の課の職員が、各都市にちなんで植えられた樹木や花を紹介する「樹や花のガイドツアー」も行いました。また、移動図書館車「おでかけ図書館」も来園し、子ども

たちが青空のもとで、姉妹都市の本の読み聞かせや読書を楽しみました。



樹や花のガイドツアー



おでかけ図書館

イベント ランチャムコンサート[番外編]

文化祭前日の5月16日（金）には、イベントとして、市役所第二本庁舎のエントランスホールにおいて、「ランチャムコンサート [番外編]」を開催しました。

ショコラティエのニコラスさんが、会場で自身のチョコレートを配ったほか、蘇州市や全州市のゲストが伝統音楽を演奏しました。当日は100名が来場して、音楽や食をとおして姉妹都市に触れ、翌日の文化祭本番へとつなぐイベントとなりました。



ニコラスさんのチョコ紹介

どうもありがとうございました！

ご協力くださった関係者

- ・ 石川県 ロシア国際交流員、ブラジル国際交流員
- ・ ゲント大学 学生5名（金沢大学への留学生）
- ・ ナンシー国立高等美術学校 学生2名（金沢美術工芸大学への留学生）、ナンシー国立高等美術学校への派遣留学生OG、ナンシー市への派遣インターン生OG
- ・ 金沢大学中国留学生学友会
- ・ NPO法人YOU-I、石川県ロシア協会・金沢市ロシア協会、石川県華僑華人聯誼会、石川日韓友の会カナダラくらぶ、マルシェロロ金沢

ゲント市・金沢市間の留学生によるネットワークを構築！

ベルギーのセリエー・アルノ国際交流員の発案による「姉妹都市留学生ネットワーク構築モデル事業」が始動しました。

令和7年度は、ゲント市から金沢市への留学生9名、ゲント市に留学経験のある日本人学生3名が、市の交流事業などに参画し、「ゲント金沢留学生ネットワーク」として、イベントに出展すること等を通じて、市民と交流を深めました。

◆かなざわ姉妹都市文化祭で市民と交流

「かなざわ姉妹都市文化祭」(P1)では、ゲントからの留学生5人が2つのブース運営に協力しました。

都市紹介ブースでは、楽しいクイズやパネルを用いてゲント市の魅力を伝え、食文化ブースでは、ショコラティエ・ニコラス氏のチョコレートを一緒に配布しました。メンバーからは、「自国の文化を紹介できて嬉しかった!」「市民と話せて楽しかった!」などの声が聞かれました。



都市紹介ブース



食文化ブース



集合写真

◆ゲントに留学経験のある学生との交流会

6月29日(日)に金沢大学留学生宿舎・先魁にて、ゲント大学への留学経験のある金沢大学生との交流会を行いました。イベントブースでの出展内容の検討や意見交換を行い親睦を深めました。



交流会の様子



◆ベルギー料理教室を金沢国際交流財団と共催

1月17日(土)に中央公民館長町館にて、金沢国際交流財団との共催でベルギー料理教室を開催しました。ゲント留学生や留学経験のある金沢大学生がゲント市の食文化や留学体験を紹介し、参加者との交流を深めました。



煮込み時間に文化紹介



留学生の調理の様子

◆かなざわ国際交流まつりの来場者と交流

10月11日(土)・12日(日)、金沢市役所で開催された「かなざわ国際交流まつり2025」にて、ベルギーの都市紹介をパネルやクイズで行い、参加者にはベルギー国旗のシールやピンバッジをプレゼントし、訪れた市民と交流を行いました。



かなざわ国際交流まつり2025

◆感謝状贈呈式

留学を終える留学生計8名に事業参画への感謝と今後のさらなる活躍への期待を込めて、7月23日(水)と12月17日(水)に、金沢市役所にて^{むらかど}村角都市政策局長から感謝状の贈呈を行いました。

帰国後も金沢市の魅力を発信し、姉妹都市の交流をさらに深めていただくことを期待しています。



感謝状贈呈式 1回目



感謝状贈呈式 2回目

2026年度も新たな留学生を迎え入れ、さらなる充実を図っていきます。

蘇州市との青少年親善団交流が6年ぶりに再開 ～青少年親善団18名の来訪を受入～

コロナ禍等により中断していた中国・蘇州市との青少年親善団の交流を6年ぶりに再開しました。2025年7月3日～7日、杜紅芳・蘇州工業園区星湾学校副校長を団長とする中学生親善団20名（引率2名、生徒17名、通訳1名）が来訪しました。

滞在中、一行は、兼六園・金沢城公園や金沢21世紀美術館、ひがし茶屋街などを視察したほか、和菓子作りや金箔貼りなど金沢を感じる体験を行いました。

4日には、市立長町中学校を訪問し、長町中生が英語で金沢を紹介したほか、おりがみを紹介するなど、同世代の交流が行われました。5日には、

金沢子ども会連合会と交流し、金沢に古くから伝わる遊びである旗源平で遊びました。

親善団の中学生たちは、「帰国したら金沢の良さを家族や友達に紹介したい」と話していました。



子ども会連合会との交流



新保副市長を表敬訪問

石川中央都市圏グローバルEXPO開催！

8月30日（土）、金沢市役所第二本庁舎にて、石川中央都市圏の6市町（金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町）の7か国10人の国際交流員が集結し、若い世代のグローバル人材の育成を目的とした「石川中央都市圏グローバルEXPO」を開催しました。今回が2回目の開催となります。当日は約700人の市民が訪れました。

10人の国際交流員が母国を紹介する国際理解コーナー（ベルギー、カナダ、中国、フランス、韓国、ドイツ、アメリ

カ）や気軽に国際交流員との英会話を楽しめる英会話チャレンジコーナー、専門団体による海外体験談及び留学相談コーナー、各国の手作りクラフトコーナー、各国の海外料理コーナーを設け、海外の刺激を受けることのできるコンテンツをたくさん用意しました。また、国際理解コーナーで交流するとサインがもらえるサインラリーを実施し、参加者には世界のお菓子をプレゼントしました。



6市町の7か国10人の国際交流員



700人が来場



手作りクラフトコーナー



英語チャレンジコーナー



国際理解コーナー

日本人・外国人住民双方が

外国人住民キーパーソンとの連携

外国人住民は、同じ国・同じ言語の方から情報を得ることが多いといわれています。市では、2023年より、各国・言語のコミュニティ内において情報発信の中心的な役割を担える、日本在住歴が長く日本語が堪能な外国人住民にキーパーソンとして連携会議に参加してもらい、多文化共生の地域づくりのための意見交換をしています。

2025年度は、ミャンマー、ベトナム、中国、ポルトガルの方に出席いただき、9月11日（木）に、災害や防災をテーマに意見交換しました。会議では、「避難所はどのようなところなのか。行っていいところなのか分からない。行くことに不安を感じる。」、「避難所にどのタイミングで行くべきか分からない。」、「どこから情報収集したらよいか分からない。」等の声がありました。「避難所」という言葉は、異なる国で育った住民にとってはイメージが湧きにくいことが分かりました。

市では、その後、この会議で出た意見をもとに、外国人住民防災リーダーを育成するための研修を企画しました。

外国人住民防災リーダーの育成

外国人は、言語や生活習慣、災害に関する知識・経験の違いにより、災害時に、日本人以上に、困難に直面することがあります。一方で、留学生等若い方が多く、地域の防災をともに支える力にもなります。そこで、「自助」、「共助」に率先して取り組める人材を育成して地域の防災力を高めることを目的として、今年度初めて、外国人住民防災リーダー育成研修を11月8日（土）に開催しました。当日は、6か国12人が参加しました。

研修の前半では、市危機管理課の職員が講師を務め、起こりうる災害や必要な備え等、災害や防災について講義しました。参加者は、ハザードマップや避難所地図を使い、自宅の災害の危険性や避難所の位置も確認しました。



講座をとおして防災知識を習得

後半は、実際の指定避難所である旧野町小学校体育館において、避難所のイメージを持ってもらいながら、災害時に必要な活動を体験しました。ここでは、金沢コミュニティ防災士ネットワークの防災士3名にご協力をいただき、参加者は、交流をしながら、防災対策への理解を深めました。

〈体験内容〉

- ・防災資機材が保管してある備蓄倉庫の見学
- ・防災食の試食
- ・VR（バーチャルリアリティ）による地震・水害・洪水被害の疑似体験
- ・通訳アプリを使ったコミュニケーション
- ・避難者名簿の記入
- ・簡易テント、段ボールベッド、間仕切りの組立て
- ・簡易トイレの利用

今後も本研修は継続予定で、多くの外国人住民に参加いただき、地域の防災力アップにつなげたいと考えています。



段ボールベッドを組立て



防災食を体験しながら、防災士や危機管理課職員と意見交換

日本語・学習支援教室「わかたけ」 (大桑、杜の里)

大桑と杜の里の2地区において、大学、学生、ボランティア、地域等と連携し、主に外国につながる子どもたちを対象に、学校外の活動として、日本語・学習支援教室「わかたけ」を、2022年から開催しています。

大桑では原則として第1土曜日に、大桑町の大桑集会所で、杜の里では第4土曜日に、杜の里小学校内の地域開放されている会議室で、子どもたちが、学生や社会人ボランティアと交流しながら、宿題や日本語学習に取り組んでいます。外国人住民の生活相談を随時受け付けることで、地域の居場所づくりも担っており、2025年度からは、子どもと一緒に保護者の参加も進めています。

暮らしやすい社会のために

また、8月には杜の里地区で、3月には大桑地区で、それぞれの地域団体、大学、ボランティアとの連絡会議を開催し、情報共有や意見交換をしています。



大桑地区



杜の里地区

大桑町平町会と 北陸大学日本語ボランティアサークル 「つなぐみ」の連携

教室開設当初から北陸大学の学生の日本語ボランティアサークル「つなぐみ」が参加し、教室の運営に協力しています。2023年には、「つなぐみ」と大桑平町会とは、多文化共生に向けた地域づくりのため、連携協定を締結しており、学習支援に加えて、児童・生徒向けの交流イベントの開催なども、連携・協力しながら取り組んでいます。

◆2025年8月2日(土)「たこ焼きパーティ」開催

日本語・学習支援教室「わかたけ」に出席した子どもと保護者が参加し、たこ焼きづくりをとおして、教室と地域との交流を深めました。食材は、異なる文化背景をもつ方も安心して食べられるものを選んで実施しています。

◆2026年1月10日(土)「スポーツ交流会」開催

「つなぐみ」が企画したスポーツ交流会が、北陸大学の体育館で行われました。鬼ごっこや、だるまさんが転んだ、ドッジボールなど、活発に体をつかって動き回り、ほかほかになりながら、交流を更に深めました。



みんなでたこ焼きづくり



ほかほかスポーツ交流

かなざわ外国人母国語緊急ネット (LINE) に2言語追加!

外国人住民向けに、大雨や大雪などの災害情報や給付金等の行政情報を人口の多い言語で配信しています。(登録者550人)

これまでの英語、中国語、ベトナム語、インドネシア語、やさしい日本語に加え、2025年度新たにミャンマー語とネパール語を追加し、7言語になりました。

外国人住民の生活をサポートしています!

・市役所窓口での通訳

窓口や電話で、必要に応じ通訳サービスを活用しています。

(言語) 英語、中国語、インドネシア語、ベトナム語、ミャンマー語、ネパール語 ほか

・金沢生活ガイド

行政手続や交通情報等、生活に必要な情報をまとめた冊子を配布しています。

(言語) 英語、中国語、ベトナム語、インドネシア語、やさしい日本語

・かなざわ外国人子育て支援ハンドブック

本市の保健サービスや手続きを紹介しています。

(言語) 1冊に英語、中国語、やさしい日本語を併記

・金沢市指定避難所マップ

市の指定避難所の位置を記したマップを配布しているほか、Googleマップでも公開しています。

(言語) 英語、中国語、ベトナム語、インドネシア語

・金沢市HP内 “For Foreign Residents”

市役所で手続きをする際に必要な書類や、手続きの方法がわかる動画を英語で見られます。

金沢市HP内→
“For Foreign Residents”



国際交流特使養成塾の開催

留学生を対象に、国際交流員とともに市の文化を体験してもらい、母国への帰国後も国内外に金沢の魅力を発信する「金沢市国際交流特使」を養成するため、「国際交流特使養成塾」を通年で開催しています。2025年度は計7回開催し、21の国・地域からのべ118名が参加しました。

本塾を受講し、基準を満たした留学生は「金沢市国際交流特使」として金沢市長より任命されます。

〈講座内容〉

- 第1回 4月26日(土)
テーマ：金沢の九谷焼～絵付け体験～
内容：九谷焼の工房見学、絵付け体験
- 第2回 6月28日(土)
テーマ：金沢が誇る輝く金箔について知りましょう！
内容：金箔箔についての講義、金箔貼り体験
- 第3回 7月26日(土)
テーマ：兼六園を訪ね、茶道体験をしましょう！
内容：兼六園視察、茶道体験

- 第4回 9月20日(土)
テーマ：金沢の伝統を味わう発酵食体験
内容：四十萬谷本舗・四十萬谷正和社長による発酵食の英語での説明、かぶら寿し等の試食、糍漬け体験
- 第5回 11月15日(土)
テーマ：金沢の味を楽しもう～治部煮作り体験
内容：金沢の食文化についての講義、治部煮作りと実食
- 第6回 12月7日(日)
テーマ：金沢の伝統工芸～加賀象嵌について知りましょう！
内容：象嵌についての講義、梅のストラップ制作体験
- 第7回 2月28日(土)
テーマ：金沢のお茶文化～和菓子を作ってみよう！
内容：金沢の食文化についての講義、和菓子作り



九谷焼絵付け体験

金箔貼り体験

茶道体験

糍漬け体験

治部煮作り

加賀象嵌制作体験

姉妹都市から国際交流特使養成短期研修生を受入

市では、2015年度より、金沢との姉妹都市交流を支える現地の交流拠点である「サポーターズクラブ」などが派遣する若者を受入れ、各種体験のほかホームステイなど市民との交流の場も取り入れた「国際交流特使養成・短期研修事業」を行っています。

11回目の今回は、2026年1月28日(水)～2月3日(火)、アメリカ・バッファロー市、ブラジル・ポルト・アレグレ市、ベルギー・アントワープ市より1名ずつ、計3名の研修生を受入れました。3名は初日に村山市長を表敬し、翌日からは治部煮作りや着付けなどの文化体験、まちなみや文化施設、史跡などの見学を通して、金沢をまるごと体験し、理解を深めました。

また、週末はホームビジットや市民ボランティア交流会に参加し、市民との交流を楽しみました。

最終日、3名は「金沢市国際交流特使」に任命されました。帰国後に現地のイベントやSNS等で、今回体験した金沢の魅力を広く発信していきますと各々の抱負を語りました。任命式後は国際交流課職員との情報交換会を行い、今後の姉妹都市交流に向けたアイデアを出し合いました。

〔参加者(名・姓)〕

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| バッファロー市 | オードリー・グラウト
(バッファロー・金沢姉妹都市委員会) |
| ポルト・アレグレ市 | ミシェル・ベリーノ (金沢友の会) |
| アントワープ市 | マルテン・サラート
(金沢・アントワープ交流サポーターズクラブ) |



市長表敬

茶道体験

市民との交流会

治部煮づくり体験

フェアトレードの理念の普及に向けて

市内のフェアトレード団体などから構成される「NPO法人フェアトレードタウン金沢推進委員会」の主催で、市との連携のもと、フェアトレードの理念の普及に向けた活動が展開されました。

かなざわフェアトレードフェスタ2025 ～能登半島地震・豪雨被災地応援～

5月が「フェアトレード月間」で、第2土曜日が「世界フェアトレード・デー」にあたることから、2025年5月10日（土）に開催されました。前回に引き続き今回も、能登半島地震被災地生産者ブースによる、能登を産地とする食品や工芸品の販売が行われました。

会 場 金沢市役所庁舎前広場
出展団体 38団体
内 容 商品紹介、販売、体験など

金沢市・金沢市姉妹都市交流委員会及び金沢国際交流財団ブースでは、4色の染料を使って無地のハンカチを染める、絞り染め体験を行いました。この体験を通して、不要となった服やものに手を加えて、より価値の高いものにつくり変える、アップサイクルの技術を知ってもらいました。来場者は好みに合わせた色や染め方で自分だけのユニークなハンカチを制作していました。また、フェアトレードの理念と、フェアトレード先進国であるゲント市の取り組みを紹介するパネル展示も行いました。



フェアトレードフェスタ 2025

フェアトレード塾

2回の講座が開催され、のべ104名が参加しました。

〈第1回〉

9月15日（月・祝）

会 場：石川県女性センター

内 容：「暮らし・仕事を通してパレスチナを知る・応援する
～パレスチナ地域の生産者とのフェアトレード～」

講 師：合同会社パレスチナオリーブ 皆川 万葉 代表

〈第2回〉

2月15日（日）

会 場：石川県女性センター

内 容：「コーヒー2050年問題とフェアトレードの未来
～フェアトレードタウン&大学に何ができるか?～」

講 師：静岡文化芸術大学 文化政策学部

国際文化学科 武田 淳 准教授

フェアトレード エシカルマーケットの開催

フェアトレード エシカルマーケットが開催され、フェアトレード商品や環境に配慮された産品が販売されました。

開 催 日：10月19日（日）10:00～15:00

会 場：金沢港クルーズターミナル

出展団体：20団体



エシカルマーケット

国際交流特使による金沢PR活動 在外公館に金沢市ブースを出展

日本国大使館が3か国4公館で開催した天皇誕生日記念レセプションに金沢ブースを設置し、国際交流特使やサポーターズクラブ、元留学生が金沢の魅力をアピールしました。

	〈ブラジル〉 在ポルト・アレグレ 領事事務所	〈ベルギー〉 在ベルギー 日本国大使館	〈フランス〉 在フランス 日本国大使館	〈フランス〉 在ストラスブール 日本国総領事館
開 催 日	2月5日（木）	2月19日（木）	2月19日（木）	3月12日（木）
場 所	社交・スポーツクラブ GREMIO NAUTICO UNION	在ベルギー 日本国大使公邸	在フランス 日本国大使公邸	駐ストラスブール 日本国総領事公邸
派 遣 者	金沢友の会	金沢・ゲント交流サポーターズクラブ	元留学生	元インターン生
内 容	展示：ポスター、パンフレット 味覚：和菓子 工芸：金箔体験			



ベルギーでの
天皇誕生日レセプション



バッファロー 【アメリカ合衆国】



バッファロー市庁舎

提携 1962年（昭和37年12月18日）

人口 28万人 **面積** 105km²

五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。市内には、オルブライト・ノックス美術館、州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西 25km の所にある。

バッファロー・金沢姉妹都市委員会が 姉妹都市文化祭でPR！ スポンジキャンディー紹介動画も配信！

5月、「かなざわ姉妹都市文化祭」に合わせ、クリストファー・モリソン会長をはじめ、バッファロー・金沢姉妹都市委員会の3名が来訪し、姉妹都市公園を訪れた市民にバッファロー市を紹介しました。バッファローの桜の写真やバッファローを代表するアイスホッケーチームのユニフォームなどで華やかに飾られたブースでは、クイズやカズー（ハミングで音を鳴らす楽器）など様々なアクティビティを用意しました。その1つとして、バッファロー名物「スポンジキャンディー」を紹介しました。スポンジキャンディーとは、カルメ焼きのようなスポンジをチョコレートでコーティングしたお菓りで、噛むとシュワッと溶ける軽い食感を多くの方に味わってもらうことができました。

また、文化祭に先立って、バッファロー・金沢市姉妹都市委員会では、チョコレートメーカーのプラッターズチョコレートの協力を得て、スポンジキャンディーの紹介動画を作成しました。動画は、文化祭会場で紹介されたほか、金沢市HPからも視聴できます。



姉妹都市文化祭の都市紹介ブース



スポンジキャンディー紹介動画

庭園友の会 西田敦子・ミッチェルさん、 ポーラ・ハインズさんが来庁

9月25日（木）、バッファロー市のデラウェア公園内の日本庭園の維持管理に協力している、バッファロー日本庭園友の会の西田敦子・ミッチェルさんとポーラ・ハインズさんが来訪しました。この機会に2022年の姉妹都市提携60周年に日本庭園補修団としてバッファローを訪問した庭園技師の浦誠さん、荒屋義武さん、松本誠さんが同席し、日本庭園の現状や3年前の修復作業のエピソードなど、情報交換を行い、これまでの交流の歴史を振り返る貴重な時間となりました。

またバッファローの地元新聞にポーラさんが寄稿した日本庭園に関する記事が掲載されました。そこには、日本庭園の維持するためのボランティアの大切さや金沢の庭師から学ぶ技術がいかに重要であるかなど、強い熱意が感じられました。



日本庭園について懇談

Topics

新 バッファロー市長が就任！

2026年1月1日、ショーン・M・ライアン（Sean M. Ryan）新市長が就任しました。ライアン市長は、これまでニューヨーク州上院議員として、バッファロー市の一部を含むニューヨーク州西部の経済改革に大きく貢献され、このたび第64代バッファロー市長に就任しました。



ライアン市長

バッファロー・金沢姉妹都市委員会の新役員が決定！

2026年2月、バッファロー・金沢姉妹都市委員会の新役員が決定しました。新役員には、姉妹都市文化祭でバッファローPRブースを担当したエリザベス・クニプスさんや、短期研修事業を修了し国際交流特使に任命されたオードリー・グラウトさんが就任されました。お二人とも今年度の国際交流事業に参加されている方々で、早くも新たな繋がりが生まれていることを大変心強く感じております。今後も両都市の友好関係をより一層深めていきます。

ポルト・アレグレ 【ブラジル連邦共和国】



ボルジェス・デ・メデイロス通り（撮影：Alex Rocha）

提携 1967年（昭和42年3月20日）

人口 133万人 **面積** 496km²

ブラジル南部最大の都市で、リオ・グランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオ・デ・ジャネイロに並ぶ良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしており、グワイバ川沿いに広がる市街は、美しいパトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウショ（カウボーイ）の像が訪れる人々を出迎えている。

金沢友の会が日本祭りで金沢をPR

ポルト・アレグレ市内において、11月14日（金）～16日（日）に「第12回日本祭り」が開催され6,000人の来場者で賑わいました。

金沢ゆかりの市民で構成される「金沢友の会」では、金沢に関するブースを設けました。ブースでは金箔貼り体験を実施し、金沢の工芸品等の展示、姉妹都市間の交流や歴史、観光について紹介し、来場者に金沢をPRしました。



日本祭りの金沢ブース

金沢友の会のメンバーにインタビュー

2026年1月28日（水）～2月3日（火）、金沢市内で実施した国際交流特使養成・短期研修に参加した金沢友の会のメンバーであるミシェリ・ペリーノさんにインタビューしました。今回が訪日3回目、うち金沢への訪問は2回目で、日本が大好きだそうです。

—日本や金沢に興味を持ったきっかけは何ですか？

テレビ等のメディアで日本の文化についての特集を見たことがきっかけで日本が気になっており、20歳になって日本のアニメを見た際により興味を持ちました。最近では、日本の政治や政策にも関心があります。

—金沢友の会に入ったきっかけは？

昔教わっていた日本語の先生から、ポルト・アレグレに

ある日系人コミュニティに日本のことを紹介する良い機会になると紹介されたことがきっかけです。

—短期特使研修で最も印象に残ったことは何ですか？

4日目のホームビジットでの体験です。家庭でお好み焼きをつくるなど、観光では体験できない、日本人の日常生活について学ぶことができ、とても貴重な文化交流ができました。ホストファミリーの皆さんは娘のように接してくれてとても嬉しかったです。

—ポルト・アレグレのおすすめの場所や

食べ物はありますか？

海沿いにある街がおすすめです。いろいろなお店やレンタルバイクがあり、ジェットスポーツをすることもできます。夕暮れの景色が美しいです。食べ物だと、パーベキューが有名でとても美味しいです。

—研修で得たことを今後どう活かしていきたいですか？

金沢は歴史が長く、何世代も引き継いでいる伝統文化を守っており、政策を通じて文化を大事にしていることにとても驚きました。私はシンクタンクで働いており、ポルト・アレグレのローカルな伝統や文化のイベントを開催し、ポルト・アレグレ市民に参加していただいて、みんなで伝統や文化を守っていき、アイデンティティを大切にしたいです。



ミシェリ・ペリーノさん（写真中）

イルクーツク【ロシア連邦】



イルクーツクのまちなみ（イルクーツク駅）

提携 1967年（昭和42年3月20日）

人口 61万人 **面積** 277km²

バイカル湖（世界遺産）の西方にあり、東シベリアの政治、経済、教育、文化の中心地。イルクーツク州の州都。天然資源が豊かで、機械、木材、食品などの工業が発達している。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

イルクーツクの学生と日本語でオンライン交流会を開催！

2月28日（土）に、日本語によるオンライン交流会を開催しました。今回の交流会は、現地の日本語専攻の学生が日本人との交流を希望していたことから実現したものです。イルクーツクからは、イルクーツク国立大学の学生4名と日本語教師のラリーサ・ワラビョーフ先生が、金沢からは、小学生、高校生、大学生など7人が参加し、中には、かつて中学生親善団として同市を訪問したメンバーもいました。

はじめに、各自が自己紹介を行った後、2つのグループに分かれて、自分のまちの好きなところ、ロシア語と日本語の違い、部活動、好きな食べものなど、様々なトピックについて紹介し合い、交流を深めました。イルクーツク側からは「日本語を話せるチャンスを得られて幸せだった」、金沢側からは、「イルクーツクについて多くのことを知ることができた」等の声がありました。



オンライン交流会の様子

現地で日本語を学ぶ学生から、イルクーツクを発見！

イルクーツク国立大学で日本語を学ぶ学生15人が、イルクーツクについて質問に答えてくれました。みなさんは、日本文化やアニメ、日本語の音の美しさ等に魅了されて、日本語を勉強しはじめたそうです。

●イルクーツクの好きな場所は？

中心部のカール・マルクス通り、金沢通り、チカロフ通りです。美しい建物がたくさんあります。/アンガラ川の川岸

を散歩するのが、心地よくて好きです。夕暮れ時がきれいですよ。/季節ごとにすてきなコムソモリスク公園。/キロフ広場は、夏は花や噴水、冬はツリーや氷の彫像を楽しめます。/美しい作品が鑑賞できる美術館が好きです。



市民に愛されるアンガラ川と夕日

●伝統的な習慣や行事を紹介してもらえますか？

6月の第一土曜日は「市の日」で、コンサートや様々なイベントでお祝います。/「イルクーツクのアルパート」という祭りでは、多くの職人が集り、手工芸品を紹介して、市民にワークショップを開きます。/冬は、「イルクーツクの冬」という大きな祭りがありますよ。メインは、アンガラ川の氷上で行われる氷像の展示会です！伝統的な冬の遊び（馬上そり等）も体験できます。

●特産品は、どのようなものがありますか？

バイカル湖で獲れる「オムリ」という魚です。燻製やスープにしたりして食べます。とてもおいしく、これを味わおうと観光客が訪れます。/地理的に、ブリヤートの影響も強く、蒸し料理「プーズ」も人気があります。



プーズ

●冬は、どのように楽しんでいますか？

とても寒いので家でゆっくりするのが好きです。温かいサモワール（ロシア式湯沸かし器）で紅茶を入れて、ジャムと飲みながら、長い夜を家族や友人とおしゃべりをして過ごします。/散歩をして冬のきれいな景色を楽しみますね。/冬だからこそスキーやスケート。特にバイカル湖の氷上スケートは最高！/ロシア式サウナ（バーニャ）や、観劇に行ったりもします。

ゲント 【ベルギー王国】



ゲント市のまちなみ

提携 1971年（昭和46年10月4日）

人口 27万人 **面積** 156km²

フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「ゲント・フローラリア」は世界的にも有名。ゲント港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鉱などの産業が発達した。聖パー夫大聖堂や1817年創立のゲント大学のほか多くの博物館や旧跡があり、中でも鐘楼やベギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

ゲント市からゲント・ユース・ジャズ・オーケストラが来訪

4月29日（火）～5月7日（水）、ゲント市のユースジャズバンドであるゲント・ユース・ジャズ・オーケストラ（GYJO）の22名（団員19名、引率者3名）が、複数の音楽イベントへ出演するために金沢市を訪問しました。GYJOは、2012年以来、金沢市民芸術村を拠点として活躍するJAZZ-21と交流を続けながら、音楽を通して交流の輪を広げてきました。

滞在中、ガルガンチュア音楽祭では、石川県立音楽堂のエントランス前広場にて演奏し、国際ジャズデイでは、金沢市役所庁舎前広場と片町きらら広場での計2回演奏し、多くの観客を魅了しました。

また、「能登復興支援コンサート～海を越えて～」に出演し、能登の吹奏楽部の中学生と交流をしました。

さらに、芸術村にてJAZZ-21との交流コンサートを行い、ジャズを通じた友好を深めました。

他にも、村山市長を表敬訪問し、21世紀美術館や兼六園、尾山神社などを観光し、町屋塾にて茶道体験も行き、金沢の魅力堪能しました。

JAZZ-21の新谷 美樹夫代表は、「交流コンサートなどを通じてさらに友情が深まり、貴重な経験となりました。また、金沢市とゲント市の更なる友好関係に寄与し、音楽文化の架け橋ができたと感じております」と語りました。



JAZZ-21 との交流コンサート



国際ジャズデイ市役所前



村山市長を表敬訪問

ゲントネットワークレセプションを開催

10月21日（火）、ゲント市役所にてゲント金沢ネットワークレセプションが行われました。このレセプションは、ゲント市が毎年10月に開催しており、ゲント市長や駐ベルギー日本国大使をはじめ、教育・音楽・食などで交流に協力いただいている関係者約45人が出席しました。

当日は、新たに4名のサポーターズクラブメンバーが任命され、そのうち2名が「ゲント金沢留学生ネットワーク」のメンバーとして活躍してくださった方々です。また、スライドショーにて両市の交流を再確認しました。



ゲント金沢ネットワークレセプション

Topics

ずるずるラーメン（ゲント市）の店主 ニック・ホフマン氏が来訪

1月24日（土）～26日（月）に、ゲント市で「ZURU ZURU RAMEN（ずるずるラーメン）」というラーメン屋を経営しているニック・ホフマン氏が金沢を訪問しました。横浜で修業後、ゲント市で開業し、日本の食材を使うなど現地の日本人も評価する本格ラーメンを提供しています。昔から醤油や発酵に関心があり、姉妹都市である金沢の食文化について学び、理解を深め、今後のラーメンづくりでのインスピレーションを得たいという思いがありました。

滞在中は、直源醤油を視察し、醤油の歴史や製造過程、醤油の味について学びました。また、ゲント市長からの親書を持参し、市長表敬にて金沢市長に手交しました。ホフマン氏は、「金沢にこんなにたくさんの醤油があるのは驚きだ。帰国後に金沢の食文化を広めたい」と語っており、今後の姉妹都市交流への意欲を示しました。



村山市長を表敬



直源醤油を訪問

ナンシー【フランス共和国】



ナンシー市役所の夜景

提携 1973年（昭和48年10月12日）

人口 10万人 **面積** 15km²

フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。総合大学等があり、人口に占める学生の割合が高い学園都市であると同時に、国際的な音楽祭や国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場などが世界遺産に指定されている。

留学生の派遣・受入

9月から菅月湖さん（金沢美術工芸大学）をナンシー国立高等美術学校へ派遣、10月からイオラナ・ガルヴァオさん（ナンシー国立高等美術学校）を金沢美術工芸大学で受入れし、それぞれが新たな留学生生活を始めました。二人は、それぞれ32人目の交換留学生になります。



アニメストでワークショップを行う菅さん



イオラナさんが金沢美大で制作した作品

金沢未来のまち創造館で姉妹都市メニューを提供

金沢未来のまち創造館の「ノマチカフェ」で、5月21日（水）より、ナンシー市の食文化をテーマにした特別メニューが提供されました。フランス・レストランマイスター協会が授与する国際版ラベル「ワールド・フレンチ・レストラン」を受賞している2名のシェフより提供を受けた、ナンシー市を含むロレーヌ地方の郷土料理のレシピに基づき、金沢食藝研究所が研究・アレンジを加えた3品です。

「キッシュ・ロレーヌ」はロレーヌ地方出身のシェフ、ジャン＝ピエール・コッフ氏のレシピ提供を受けたものです。また、「コック・オ・ヴァン（「ワインで煮込んだ雄鶏」の意）」は、伝統のレシピに能登産しいたけ「能登115」を加え、日本人好みに仕上げました。デザートには、ナンシーからほど近いコメルシー村発祥とされる「マドレーヌ」が提供されました。



キッシュ・ロレーヌ



コック・オ・ヴァン



マドレーヌ

インターン生の派遣・受入

8月4日（月）～29日（金）にインターンの相互派遣を行いました。金沢市からは金沢大学4年の村上実優さんを派遣し、ナンシー市役所国際交流課に配属され、資料の翻訳業務等を体験しました。また、金沢市では、ナンシー政治学院1年のレベカ・デュフォセさんとポリテック・ナンシー大学1年のクロエ・オディバールさんを受入れ、保育所や図書館、文化施設、金沢国際交流財団などでの就業体験や、ホームステイを通じて、日本や金沢の文化に理解を深めてもらいました。



保育所で就業体験



金沢市役所での報告会

Topics

金沢市立病院とナンシー大学病院との研修医等の相互派遣

金沢市立病院は、7月7日（月）～8月1日（金）、地域圏立ナンシー大学病院からロレーヌ大学医学生2名を受け入れました。また11月3日（月）～28日（金）まで、地域圏立ナンシー大学病院へ研修医2名を派遣し、両病院の交流を深めました。

蘇州【中華人民共和國】



蘇州市内の世界遺産「拙政園」

提携 1981年（昭和56年6月13日）

人口 786万人 **面積** 8,657km²

約2,500年前の「呉」の国の都として築かれた古都。温和な気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。シルク刺繍などの特産品や食の地としても有名であるが、近年は、シルクなどの特産品のほか、近郊に日本企業を含む多くの外国企業が進出し、めざましい経済発展を遂げ、その経済力は中国国内トップ10にランクインしている。2014年12月、本市と同じクラフト分野でユネスコ創造都市ネットワークに加盟。

金沢マラソン2025に蘇州市代表団が参加！

金沢の街並みを駆け抜ける「金沢マラソン2025」が、2025年10月26日に開催されました。蘇州市から代表団3名（うちランナー2名）が参加しました。

当日はあいにくの雨天となりましたが、蘇州市から参加したランナーは最後まで全力で走り抜きました。

代表団は、金沢マラソンへの参加に加え、兼六園・金沢城公園を視察したほか、金沢の食文化に触れるなど、滞在を通じて本市の魅力を感じました。



マラソン当日



新保副市長を表敬訪問

「蘇州市小学校・中学校硬筆コンクール」に参加

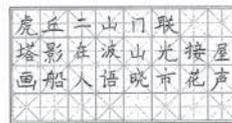
蘇州市では、漢詩を通じて青少年が地域の歴史や文化に親しみ、理解と関心を深めることを目的として、硬筆コンクールが継続的に実施されています。今回開催された「第九回蘇州市小学校・中学校硬筆コンクール」では、小学生から大学生までを対象に幅広く作品が募集され、外国人部門に金沢市立安原小学校の児童4名が応募しました。

本コンクールの課題は、蘇州の四大名園の一つであり、同市で最も古い庭園の一つとされる「滄浪亭」や、2,500年以上の歴史を有する風光明媚な名勝地「虎丘」に関する漢詩を清書する内容でした。参加した児童は、漢詩の内容を理解しながら、作品の制作に取り組みました。

その結果、1名が特等賞を受賞したほか、金沢市立安原小学校が優秀組織賞を受賞しました。

2025年「蘇州・福気」第九屆蘇州中小學硬筆書法大賽

“人間天堂・福気蘇州”
“壯志願酬” 第九屆蘇州中小學硬筆書法大賽
外籍組比賽用紙



特等賞の作品



優秀組織賞賞状

蘇州市の豆知識

●概要

蘇州市は約2500年前に呉の都として成立した都市である。大運河の発達により商業都市として繁栄した。1978年に始まった、外国資本を受け入れ経済体制を見直す改革開放以降は、工業とハイテク産業が発展し、国際的な経済都市へ成長した。古いまちなみを守る一方で開発も進み、多くの外国企業が進出するなど経済発展もめざましく、近代的なまちである。

上海市の西約100キロに位置し、高速鉄道で約30分の距離である。

●庭園文化

蘇州市では、9つの庭園がユネスコ世界文化遺産に登録されている。そのうち中国四大名園の一つである「拙政園」



姉妹都市公園蘇州ゾーン

は、池や廊下、建築が調和した、蘇州で最大規模の古典庭園と言われる。姉妹都市公園の蘇州市ゾーンは、「拙政園」をイメージして造られており、かなざわ姉妹都市文化祭の開催に合わせて改修工事が行われた。

●伝統工芸品

中国には、四大刺繍と呼ばれるものがあり、なかでも蘇州の刺繍は「両面刺繍」と呼ばれ、表と裏の両面に異なる模様を刺す高度な技法で、美しさと精密さが際立つ、蘇州の伝統工芸である。



両面刺繍



伝統家屋が並ぶ韓屋村の全景

提携 2002年(平成14年4月30日)

人口 64万人 **面積** 205km²

「後百済」の都として千年余りの歴史を持つ古都で、李氏朝鮮を開いた李成桂の本郷としても知られる。国指定宝物の豊南門(ブンナムムン)、韓屋村などの歴史遺産や韓紙(ハンジ)、パンソリなどの韓国伝統文化が創造的に継承されていることが高く評価されている。近年は、炭素繊維産業や「韓スタイル事業」を通して先端技術と伝統が調和する経済を追求するとともに、映画映像産業、生物生命産業なども育成し、21世紀新産業都市への変貌を図っている。

全州工業高校との生徒同士の交流を再開!

全州工業高校と金沢市立工業高校は2012年より姉妹校提携しており、11月19日(水)~20日(木)、全州工業高校から11名が金沢市立工業高校を訪問しました。直接の交流は6年ぶりとなりました。電子情報科と土木科の生徒同士が研究授業の参観や実習を通して交流し、知識や技術の習得を深めたほか互いの文化や考え方に触れ、友好を深めました。金沢市立工業高校の生徒は、「文化や言語の違う方々と交流することの難しさを知るとともに、楽しさも知ることができました」と語りました。



全州工業高校との集合写真

全州柔道会との交流を再開!

1月3日(土)~6日(火)に金沢市柔道協会が、全州市に中学生選手5名を派遣しました。

金沢市柔道協会と全州市柔道会は、2006年に姉妹提携を結び、2007年~2017年に毎年交互に選手の派遣・受入を行うなど交流していましたが、コロナ禍等による中断があり、今回8年ぶりとなる派遣を行い、現地の中高生と合同稽古を行いました。出発挨拶で村山市長は、金沢市柔道協会の田井友章会長に全州市長への親書を託しました。



柔道協会 出発挨拶

「第24回金沢伝統工芸展」に工芸作家を派遣

金沢市と全州市は2002年の姉妹都市提携以来、両市の伝統工芸品を毎年交互に紹介し合う民間交流を実施しています。今回は、2025年9月16日(火)~10月18日(土)、韓屋村内の全州伝統工芸品展示館を含む3会場で、本市の伝統工芸を紹介する「第24回金沢伝統工芸展」を開催しました。会場には、加賀象嵌、二俣和紙、加賀水引など140点を展示し、全州市民に金沢の伝統工芸の魅力を紹介しました。

展示会にあわせ、9月15日(月)~18日(木)に、金工作家の秋友美穂さんと前田真知子さんをはじめとする4名の参加団が全州市を訪問しました。滞在中は、加賀象嵌のワークショップを開き、24名の参加者に、堅牢なつくりと細やかな工程を体感してもらったほか、ユン・ドンウック副市長を表敬訪問しました。



ユン副市長を表敬訪問



加賀象嵌のワークショップ

Topics

全州未来都市フォーラム2025」に村山市長がメッセージ

9月18日(木)~19日(金)に全州市にて開催された国際的なフォーラムで、世界の都市が未来の都市像や施策方針を共有する「全州未来都市フォーラム」に村山市長のメッセージ動画を送りました。



未来都市フォーラム 開会式での市長の動画

全州市立図書館から金沢海みらい図書館に図書を寄贈

金沢市図書館と全州市の図書館は2015年に友好提携し、2年ごとに図書の受寄贈を行っています。10月13日(月)~15日(水)に全州市の市議会代表団が金沢を訪問した際、金沢海みらい図書館を視察し、全州市立図書館からの寄贈図書50冊を贈呈しました。

大連【中華人民共和国】



大連中山広場（撮影：優異）

提携 2006年（平成18年11月24日）

人口 609万人 **面積** 12,574km²

遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で貿易金融の中心都市。総延長 1,900 kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれ風光明媚で活力溢れたファッションとサッカーをイメージした観光戦略都市でもある。また、従来の船舶・鉄道車両などの工業基地に加え、郊外に位置する「大連金普新区」を中心に、3,300社以上の日系企業が進出しており、先端技術の発展を目指した国際都市の建設に邁進している。（写真引用：「中国国家地理・Discover Dalian, Explore More」）

海外教育派遣研修のため大連市へ！

市では、2004年度より、金沢市立小中学校の教員を友好交流都市である中国・大連市へ派遣し、現地の学校をはじめとする教育機関での視察や懇談を通じて、相互理解と友好関係を深めるとともに、教員の指導力向上に取り組んでいます。

2025年度は、2025年11月2日（日）～6日（木）、堀場喜一郎教育次長を団長とする研修団7名が大連市を訪問しました。滞在中は、大連市内の小中学校や大連大学、大連教育学院など、教育現場を幅広く視察するとともに、現地教員と意見交換等を行いました。



大連市観光局来訪 表敬訪問時



大連大学での集合写真

日本語図書1,000冊を大連大学へ贈呈

金沢市図書館では、大連大学の教職員および学生が日本語や日本文化を学習する際の一助となることを目的として、大連大学へ日本語図書1,000冊を贈呈しました。これまでも、金沢市図書館から大連市へ図書502冊を寄贈しており、その図書は現在、大連大学内に設置された「金沢文庫」に所蔵され、教育・学習活動に活用されています。



図書寄贈式

大連市文化観光局が本市を訪問

2025年11月10日（月）、^{トウ エツ}董悦大連市文化観光局副局长をはじめとする4名が本市を訪問し、新保博之副市長を表敬訪問しました。今回の代表団は、観光および文化分野における市とのさらなる交流と連携の発展を目的として来訪されたものです。

滞在は、観光に関する団体や施設を訪問し、意見交換等を通じて相互理解の促進を図りました。

古賀克己NPO法人日本海国際交流センター理事長も同席し、今後の交流の可能性について意見が交わされました。

Topics

新 大連市長が就任！

2026年1月16日、大連市人民代表大会の会議が開かれ、李強氏が大連市人民政府市長に選出され、市長に就任しました。



■国際交流員による国際理解講座

市には、アメリカ・ベルギー・フランス・中国・韓国からの5名の国際交流員が在籍しています。姉妹都市交流に関する業務に携わるほか、市民の異文化理解の促進を目的として、出身国の言語・料理・季節行事等に関する講座を開催しています。また、金沢市内の小中学校や地域団体への講師派遣も随時行っています。

- ・ 6月21日（土）
「英語de異文化理解～イギリス～」（参加者20名）
- ・ 8月27日（水）
「ハングルをおしゃれに書いてみよう！
～ハングルカリグラフィー体験～」（参加者16名）
- ・ 9月30日（木）
「秋に味わいたい！美食の国フランスの定番家庭料理」
（参加者22名）
- ・ 11月12日（水）
「ジェシカのアメリカン・ホリデー・クッキング」
（参加者15名）
- ・ 12月13日（土）
「親子で世界を学ぼう！アメリカのクリスマス体験
～手形でリース作り～」（参加者 親子11組22名）
- ・ 1月17日（土）
「ベルギー アルノ国際交流員&гент留学生と作る
チキンフリカッセと冬のサラダ」（参加者19名）
- ・ 2月11日（水）
「もうすぐ春節！中国切り絵&遊び体験ツアー」
（参加者 親子12組28名）



ハングルカリグラフィー体験



フランス家庭料理教室



クリスマス絵本紹介



ベルギー食文化紹介



中国切り絵&遊び体験ツアー



森山公民館での文化紹介

■「やさしい日本語」研修会を開催

近年、母語が英語ではない在住外国人が増えており、仕事や生活を支えるために「やさしい日本語」の活用が期待されています。やさしい日本語とは、日本語があまり得意ではない人にも伝わるように工夫した日本語です。もともとは、災害時の情報伝達のために考えられましたが、現在では、行政、医療、教育など様々な場面で使われることが想定されています。こうした背景を踏まえて、やさしい日本語の研修会を2回開催しました。

1回目は8月24日（日）に一般社団法人やさしい日本語普及連絡会の吉開章代表理事を講師に開催し、33名の参加がありました。「はっきり、最後まで、短く言う」などのやさしい日本語のポイントを学ぶとともに、やさしい日本語を考えるクイズ形式のワークショップを行いました。

2回目は8月26日（火）に金沢市役所で開催された「多文化共生」推進ワーキング会議の中で、43課の市職員が参加しました。「簡単な言葉で」「文は短く、1文に1トピック」などやさしい日本語作成の12ポイントを伝えるとともに、日常業務における窓口対応や災害時など実際の場面を想定した事例を交えながら学びました。

参加者からは、「やさしい日本語という概念を初めて知った」「在住外国人だけではなく、高齢の方にも分かりやすく伝えるために利用したい」といった声が聞かれました。

普通の日本語は難しくても、「やさしい日本語」で伝えれば理解できる外国人はたくさんいます。また、外国人だけでなく、だれにとっても情報を分かりやすく伝える有用なコミュニケーション手段であるとも言えます。



やさしい日本語専門講師による講座



「やさしい日本語」を使用した冊子

2025年4月～2026年3月

国際交流ダイアリー

4～6月

- 4月17日～7月9日
金沢美術工芸大学でナンシー国立高等美術学校の学生1名を受入
- 5月6日～10日
村山市長を団長とする市代表団が台湾・台南市の八田技師夫婦墓前祭に参列、台南市・台中市の政府等表敬訪問
- 6月2日～7日
金沢市工芸協会訪問団が中国・上海市及び蘇州市を訪問
- 6月23日～24日
フランスのアンギャンレバン市で開催されたユネスコ創造都市ネットワーク年次総会に出席

7～9月

- 8月4日～7日
中国・ハルビンで開催の「第37回ハルビンの夏音楽会」に歌手・演奏家4名を派遣
- 8月19日～2月20日
金沢美術工芸大学からデンマーク王立美術院へ学生1名派遣
- 9月1日～2月6日
金沢美術工芸大学からフランスのナント・サン＝ナゼール高等美術学校へ学生1名派遣
- 9月22日～26日
金沢市議会代表団が台湾の台南市、台中市を訪問
- 9月25日～10月2日
金沢市議会代表団がアメリカのパツファロー市、ブラジルのポルト・アレグレ市を訪問
- 9月27日～12月23日
金沢美術工芸大学でアントワープ王立アカデミーの学生2名を受入

10～12月

- 10月1日～3月31日
金沢美術工芸大学でデンマーク王立美術院の学生1名を受入
- 10月4日～12日
イタリア・トリノ、ローマ、リミニで商談セールス・観光セミナー等を実施、リミニの旅博TTGに出展

- 10月10日～11月4日
アーティスト・イン・レジデンス事業でイタリア・カッラーラの陶芸・金工作家1名を受入
- 10月13日～15日
韓国・全州市議会代表団15名を受入
- 11月2日～6日
金沢市立小・中学校教員等が中国・大連市の小・中学校や大連大学等を訪問
- 11月3日～28日
金沢市立病院の臨床研修医2名をナンシー大学病院へ派遣
- 11月8日～26日
第6回金沢・世界工芸トリエンナーレを開催

1～3月

- 1月12日～3月15日
金沢美術工芸大学からアントワープ王立アカデミーへ学生1名派遣
- 1月19日～4月10日
金沢美術工芸大学からナンシー国立高等美術学校へ学生1名派遣
- 1月21日～4月8日
金沢美術工芸大学からアントワープ王立アカデミーへ学生1名派遣
- 2月11日～27日
アーティスト・イン・レジデンス事業でタイ・スコタイ市およびチェンマイ市に本市陶芸作家1名派遣
- 2月2日～8日
シェフ・イン・レジデンス事業でフランス・パリのレストランシェフ2名を受入
- 2月15日～5月15日
金沢美術工芸大学から中国の清華大学美術院へ学生1名派遣
- 2月21日～28日
アメリカの料理人5名が市内料亭で研修・交流を実施

自治体国際化協会派遣職員的一年

福島 佳奈

2025年4月から、一般財団法人自治体国際化協会（クレア）東京本部に派遣されています。私は経済交流課という部署に所属し、海外販路開拓とインバウンドを2大テーマとして、自治体の海外向けの経済活動施策の立案や実施における幅広い支援を行っています。

2025年11月に、日本の地域産品のテストマーケティングと海外販路開拓を目的とした「日本ふるさと名産食品展inロサンゼルス&ニューヨーク」の運營業務で、14日間にわたる米国出張に行ってきました。西のロサンゼルス、東のニューヨーク。性格の異なる二大都市で、日本の「食」がどう受け入れられているのか、どのような点に難しさがあるのかを実際に感じる事ができた貴重な機会となりました。

出張前半のロサンゼルスは、この地では珍しい連日の大雨。集客への影響が懸念される天候でしたが、蓋を開けてみると会場は多くの来場者の熱気に包まれました。試食をきっかけに購入が伸び来場者が列をつくるブースがある一方、英語での説明が難しい食品は苦戦する場面もありました。ただ、そうした経験を通じて「伝え方や見せ方の工夫や課題がより具体的になった」という声も事業者から聞かれました。

後半のニューヨーク会場は、ブルックリンの「ジャパンビレッジ」で行われ、週末には1日で5,000人以上

が来場しました。1本数百ドルの高級羊羹を販売する事業者は、着物姿での接客に加え、購入者の目の前で和菓子を仕上げるパフォーマンスを実施。ニューヨーク市民の高い購買力に驚かされることもさることながら、様々な工夫を凝らしながら商品の販売やプロモーションを行う事業者の皆さんの姿も印象的でした。

今回の事業では、海外販路開拓に取り組む自治体を支援するため、各自治体を通じて参加した事業者の方々の出展をサポートしました。普段、国内では競合関係にある事業者同士が、海外市場を切り拓くために情報交換し、助け合いながら、オールジャパンの姿勢で展示会に挑んでいた姿も印象的で、その挑戦を支える自治体職員の立場として大きな学びとなりました。

また、当食品展では私たちクレアのブースで、日本各地の自治体の観光パンフレットを配布しPRを行いました。来場者との会話を重ねる中で、日本の各地域に強い関心を寄せる人が大変多いことを実感し、中には金沢を訪れた思い出を熱心に話してくださった方もおり、遠い地で金沢の話題が自然に出ることに嬉しさを感じました。

この14日間で得た出会いや気づき、そして現地での数々の経験は、どれも忘れがたいものとなりました。これらの学びを踏まえ、今後の業務にしっかりと活かしていきたいと思っています。



多くの来場者で溢れる食品展会場（in LA）



クレアブースでの自治体観光PRの様子

国際交流員 (Coordinator for International Relations) 活躍中!

市には、ベルギー、フランス、韓国、中国、アメリカの5か国の国際交流員 (CIR) が在籍しています。姉妹都市との交流や通訳だけでなく、文書の翻訳、市民向け国際理解講座、学校訪問、SNSでの情報発信など、多岐にわたって活躍しています!

そして、今回も、2025年度に開催した、「特使養成塾」のニュースレターを作成しました! 養成塾の様子はCIRのInstagram (@kanazawa_cir) でもご覧になれるので、是非フォローしてください!



市長表敬の通訳 (マシア)



ゲストのスピーチ通訳 (カイエン)



伝統工芸展参加団として全州に出張 (インヘ)



ドリームキャッチャーの作り方を紹介 (ジェシカ)



ベルギーの料理教室を開催 (アルノ)



CIR インスタグラム

国際交流員の一年

ルベル・マシア (フランス)



Bonjour à tous! 皆さん、こんにちは。フランス国際交流員のマシアです!

このたび、国際親善ニュースに寄せる最後のメッセージを書くにあたり、胸がいっぱいになる思いです。

住みやすく、美しさにあふれた街・金沢に配属されたという、かけがえのない幸運を言葉で表すことはできません。金沢の歴史や文化を学んだ日々は、私にとって職業的にも、人としても、計り知れない価値のある経験でした。大きく成長することができ、国際交流課の一員として働けたことを誇りに思っています。

異なる慣習を持つ国で生活することは決して容易ではありませんでしたが、ここ金沢は私にとって心安らぐ場所となりました。在任中に関わらせていただいた市役所職員の皆様の、忍耐強さ、謙虚さ、そして惜しみない思いやりは、今後どのような挑戦に直面しても、私の指針であり続けることでしょう。

これからも、ここ金沢で得た知識や経験をフランス、そして他の国々へ伝え、海外における金沢の魅力発信に微力ながら貢献していきたいと思っています。特に、ここで工芸に出会い、その知識を深めることができ、たとえ帰国した後であっても、この素晴らしい文化を、できる限り大切に、伝え続けていきたいと考えています。

これまで金沢で出会った素晴らしい方々、共にお仕事をさせていただいた多くの専門家の皆様、心から感謝しています。もちろん国際交流課の同僚の皆様、そして市役所でCIRとして働く中で、常に温かく迎えてくださった金沢市民の皆様にも、深く御礼申し上げます。

皆さん、どうか今年もお体ご自愛に、これからの日々を大切な方々と穏やかで優しい時間の中でお過ごしください。ここで過ごした時間や、皆さんからいただいた温かさを胸に、私はこれからも一步一步、精一杯前を向いて歩んでいきます。

あと残り半年ありますが、またどこかでお会いできる日を心から願いながら、感謝の気持ちを込めてお別れのご挨拶とさせていただきます。

Un grand merci à tous, du fond du coeur, et à bientôt!

マシア

セリエー・アルノ（ベルギー）



Dag iedereen! 皆さん、こんにちは。ベルギー国際交流員のアルノです!

金沢に来てから二年が経ち、今回で親善ニュースへの寄稿も二回目となりました。振り返ると、この一年もあつという間でしたが、常に多くの活動に関わり、充実した日々を過ごしてきました。

一年を通して、гентトに関わるさまざまなプロジェクトに継続して取り組んできました。料理教室や学校訪問、ベルギーからの来訪者の受け入れ、文化イベントの準備、交換留学生との協働など、この活動が金沢とгентトのつながりを深めるものとなりました。

中でも印象に残っているのは、市民の皆さんとの交流です。ベルギーのビール文化や、多言語社会としてのベルギーの複雑な現実を紹介した際に見せる、驚きや関心

に満ちた表情がとても心に残っています。「次はベルギーに行ってみよう」と言われると、この仕事の意義を強く実感します。

金沢での暮らしが長くなればなるほど、この街は次第に自分にとって「帰ってくる場所」になりました。日本を回って旅行するのがもちろん楽しいが、戻った時金沢駅でひんやりとした空気に歓迎され、自然と安心します。それでもなお、観光客のような目線でこの街の美しさに見入ってしまうことがあります。浅野川や犀川の澄んだ水、その流れに寄り添う文化的な景観、季節ごとに表情を変える金沢城公園：紅葉、桜、雪、そして鮮やかな緑。私たちは本当に恵まれた街に暮らしていると感じます。

国際交流員としての仕事を通じて、人前で話す力が身につき、また、市役所ならではの計画的で丁寧な仕事の進め方の大切さも学びました。これからも金沢とгентトをつなぐ架け橋として経験を積み、この街への感謝を形にしていきたいと思います。

銭 海艶（中国）



大家好！（皆さん、こんにちは！）

金沢に来てから、まもなく一年が経とうとしています。振り返ってみると、時間があつという間に過ぎた一方で、今でも来たばかりのように感じる瞬間があります。この一年間、さまざまな仕事に取り組み、多くのことに挑戦させていただき、日々がとても充実していました。どれも人生の大切な思い出になると感じています。

親善ニュースの場をお借りし、皆さんにご挨拶をさせていただきます。金沢のしとしとと降る雨から、この町ならではの静けさと穏やかさを感じました。また、伝統行事に参加する中で、歴史や文化を大切に守り続ける姿勢に触れ、大きな感動を受けました。そこには市民の皆さんの温かい思いも感じられました。

休日にはよく散歩をしながら、仕事のことを振り返っ

ていました。中でも印象に残っているのは、5月の姉妹都市文化祭と、8月のグローバルEXPOです。国際交流員として仕事を始めたばかりの頃は、大規模なイベントの準備に戸惑い、方向性が見えず不安もありましたが、周囲の皆さんに支えられ、無事に開催することができました。来場者の皆さんと交流し、文化や興味を通じてつながりを感じられたことは、忘れられない経験です。

その後、経験を重ねて迎えたグローバルEXPOでは、話し合いや企画調整を通じて多くを学びました。中国文化への関心を直接感じられたことも、心に残っています。

このほかにも、国際交流特使養成塾、文化講座、学校訪問、姉妹都市との交流など、貴重な機会をいただきました。一年間、本当にお世話になりました。金沢を離れても、ここでの思い出と感謝の気持ちを胸に、新たな一歩を踏み出していきたいと思います。

皆さん、またいつかお会いしましょう！謝謝（ありがとうございました）！

チョン・インヘ（韓国）



안녕하세요！こんにちは！韓国出身のインヘです。

初めてご挨拶させていただいてから、もう1年が経ちました。本当にあっという間で、今年は人生の節目と言っても過言ではない一年だったと感じております。

赴任初年度となる今年は、通訳・翻訳の業務だけではなく、各種交流事業やイベントにも参加する機会をいただきました。まだ仕事に慣れない中で戸惑うことも多くありましたが、その都度、周囲の皆さまに支えられ、日々の業務を通じて少しずつ理解を深めながら取り組むことができました。こうした経験を重ねながら金沢の歴史や文化、そして人々の魅力について学ぶことができ、

金沢という街への愛着を持つようになりました。

また、姉妹都市である全州市との交流を通して両市が工芸文化や街の雰囲気など多くの点で共通した魅力を感じていることを実感しました。特に、伝統工芸品展示を通じて「工芸」というこれまで触れる機会の少なかった分野への理解を深めることができたことは、自身にとって新たな視野を広げる貴重な経験となりました。

さらに、さまざまな交流の場で通訳として携わる機会をいただき、知識面においても新たな学びを得ることができました。特に工業高等学校との交流では生徒の皆さんと直接接することができ、多くのエネルギーを受け、自分自身にとって大きな力になりました。

今後とも、これまでの経験や学びを活かし、成長した姿で日々の業務一つ一つに丁寧に向き合い、周りの皆さまと共により良い交流の一助となれるよう努めてまいります。

ラング・ジェシカ（アメリカ）



Hello！アメリカ出身の国際交流員、ジェシカです。2025年7月に初めて金沢に来ましたが、すでに一生分の思い出を作ったように感じています。豊かな歴史や伝統工芸、おいしい加賀料理、そして美しい景色も、金沢には何でもそろっています。国際交流員の皆さんや市役所・KIEFの方々と一緒に働き、活発なコミュニティの一員になれたことをとても嬉しく思っています。

国際交流員として、日本人・外国人の皆さんのお手伝いをし、文化の架け橋となる機会に感謝しています。

本当にやりがいのある仕事で、金沢で開催されるさまざまな体験やイベントにはいつも驚かされます。去年は治部煮を作ったり、加賀象嵌にも挑戦しました。グローバルEXPOと国際交流まつりは特にお気に入りです。今年6月には初めての百万石まつりもとても楽しみにしています。金沢で過ごせることを心から幸運に思い、これからどんな出会いや経験が待っているのか、ワクワクしています。少し先のことですが、2027年には金沢市とバッファロー市の姉妹都市提携65周年を迎えます。

まだ分からないことはたくさんありますが、これからも精一杯頑張って、たくさんの新しいことに挑戦していきたいと思います。どうぞよろしくお祈りします！





第52号 (2025年度・令和7年度)

2026年3月発行

金沢市姉妹都市交流委員会

事務局：金沢市都市政策局国際交流課内

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069